

大阪府民のみなさんへ

## 核兵器のない世界の実現へ共に歩みましょう（アピール）

「ふたたび被爆者をつくるな」、「命輝く青い地球を未来に残そう」という被爆者をはじめとする世界の反核平和を願う人々と非核保有国の長年の運動の成果が、今年 7 月核兵器禁止条約に結実したことは、本当にうれしく画期的な出来事です。また先日、「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」という平和 NGO がノーベル平和賞を受賞したことは、私たちにとって大きな励みでした。

9 月から始まった核兵器禁止条約への各国政府の署名は、現在 53 ヶ国となっており、一日も早い条約の発効が期待されています。

条約は、核兵器の開発、実験、生産、製造、保有、移転、配備、使用および使用の威嚇などを包括的に禁止し、核兵器の使用がもたらす「破滅的な人道的結果」を指摘し、核兵器を違法化する初めての国際法です。

しかし核保有国は、この条約に反対し、日本政府もこれに追従するという情けない態度をとっています。

こうした国際的な流れの中で、日本と韓国・北米・ブラジル・カナダ・メキシコ在住の被爆者ら 9 名の呼びかけで核兵器禁止し、廃絶する条約をすべての国に結ぶことを求める「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」（略称：ヒバクシャ国際署名）を世界数億規模で取り組むことが提起されました。

国内でも、様々な組織や運動、思想、信条、立場の違いを越えて参加する「ヒバクシャ国際署名推進全国連絡会」が結成され、署名数は現在 515 万筆余りに広がっています。

大阪でもこの流れを大きくするために、本日ここに広範な団体・個人が参集して「ヒバクシャ国際署名推進・大阪の会」を発足させました。2020 年 10 月の国連総会をめざし、府民多数の賛同を得て、日本政府や核保有国にも禁止条約の批准を求めて運動に取り組みます。

核兵器も戦争もない平和な世界を願う全ての府民の皆さんによびかけます。一人ひとりのその想いを、行動にかえ、ご一緒に声をあげませんか。確かに私たち一人ひとりの力は微力ですが、決して無力ではありません。ささやかな一人の声と行動が大きな流れになった時に世界は動くことを、このたびの核兵器禁止条約の成立が見事に示したではありませんか。

この署名運動に貴方の力を貸してくださるよう心からよびかけるものです。

2017 年 12 月 18 日

「ヒバクシャ国際署名推進・大阪の会」発足総会